

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 42.5$ で前期比6.7ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 46.8$ で4.8ポイント減とやや減少幅が拡大し、受注残は $\Delta 41.7$ で0.9ポイント減と前期同様の減少が続き、収益は $\Delta 50.6$ で6.6ポイント減とかなり減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は厳しさが多少和らぎ、売上額は減少幅が幾分縮小し、受注残は今期同様の減少が続き、収益は大幅に改善する見込み。

業種別でみると、業況は、「電気機械器具」はかなり厳しさが和らぎ、「金属製品・建設用金属製品」は大きく低調感が強まり、「一般機械器具・金型」は極端に低迷した。売上額は、「金属製品・建設用金属製品」は大幅に改善し、「電気機械器具」「一般機械器具・金型」はともにやや減少幅が拡大した。受注残は、「電気機械器具」は大きく持ち直し、「金属製品・建設用金属製品」は若干減少が一服し、「一般機械器具・金型」はやや減少幅が拡大した。収益は、「一般機械器具・金型」は大きく改善し、「電気機械器具」は多少減益幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」は極端に減益幅が拡大した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 13.7$ で7.4ポイント減と大きく下降傾向が強まり、原材料価格は $\Delta 4.6$ で5.8ポイント減と上昇から下降に転じ、在庫は $\Delta 13.8$ で7.9ポイント減と大幅に不足感が強まった。来期の見通しについては、販売価格、原材料価格はともに今期同様の下降が続き、在庫は今期並の不足感が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく上昇幅が縮小し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともにかなり下降傾向が強まった。原材料価格は、「金属製品・建設用金属製品」は幾分上昇傾向が弱まり、「電気機械器具」はかなり下降傾向が強まり、「一般機械器具・金型」は上昇から下降に極端に転じた。在庫は、「金属製品・建設用金属製品」はやや過剰感が改善して適正水準となり、「電気機械器具」は大きく不足感が強まり、「一般機械器具・金型」は過剰から品薄に極端に転じた。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 24.5$ で0.5ポイント増と前期並の厳しさとなった。借入難易度は8.2で6.6ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は25.7%で6.7ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は6.8%で1.4ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がやや緩和し、借入をする企業はかなり減少し、設備投資を実施する企業は幾分増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「電気機械器具」はやや窮屈感が緩和し、「一般機械器具・金型」は前期並の苦しさとなり、「金属製品・建設用金属製品」は若干窮屈感が強まった。借入難易度は、「金属製品・建設用金属製品」は極端に容易さが増し、「電気機械器具」は多少容易になり、「一般機械器具・金型」は極端に後退した。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は大きく増加し、「一般機械器具・金型」、「電気機械器具」はともに大幅に減少した。設備投資を実施した企業は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並で推移し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともに大きく減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で52.7%となった。2位は「同業者間の競争の激化」で17.6%、3位は「原材料高」で16.2%となった。以下、4位は「人手不足」13.5%、5位は「利幅の縮小」が8.1%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で52.7%となった。2位は「経費を節減する」で43.2%、3位は「情報力を強化する」で13.5%となった。以下、4位は「提携先を見つける」が9.5%、5位は「人材を確保する」が8.1%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は△19.3で前期比18.8ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は△46.9で6.0ポイント増と大幅に改善し、受注残は△21.2で3.9ポイント増と若干減少が一服し、収益は△46.3で21.5ポイント減と極端に減益幅が拡大した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、売上額、受注残はともに改善し、業況、収益はともに悪化した。価格動向については、販売価格は0.4で12.9ポイント減と大きく上昇幅が縮小し、原材料価格は11.9で1.6ポイント減と幾分上昇傾向が弱まった。在庫は0.7で2.9ポイント減とやや過剰感が改善して適正水準となった。資金繰りは△4.9で1.6ポイント減と若干窮屈感が強まり、借入難易度は20.0で20.0ポイント増と極端に容易さが増した。借入をした企業は14.3%で14.3ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で前期同様となった。

来期の見通しについては、業況は厳しさが大幅に和らぐ見込み。売上額、収益はともに極端に改善し、受注残は減少幅がかなり縮小する見通し。販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は上昇傾向が幾分弱まると見込まれる。在庫は今期同様の適正水準が続き、資金繰りは窮屈感がやや強まり、設備投資をする企業は大幅に増加する見通し。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で42.9%、2位は「同業者間の競争の激化」が28.6%、3位は「原材料高」「工場・機械の狭小・老朽化」「代金回収の悪化」がいずれも14.3%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で57.1%、2位は「経費を節減する」で42.9%、3位は「不採算部門を整理・縮小する」「提携先を見つける」がともに14.3%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は△49.2で前期比22.2ポイント減と極端に低迷した。受注残は△47.0で5.1ポイント減、売上額は△47.9で4.7ポイント減とともにやや減少幅が拡大し、収益は△37.6で5.8ポイント増と大きく改善した。今期の「一般機械器具、金型」は、収益は改善し、業況、売上額、受注残は悪化した。価格動向については、販売価格は△18.0で12.9ポイント減とかなり下降傾向が強まり、原材料価格は△16.2で22.3ポイント減と上昇から下降に極端に転じた。在庫は△18.3で24.2ポイント減と過剰から品薄に極端に転じた。資金繰りは△27.2で0.4ポイント減と前期並の苦しさとなり、借入難易度は22.2で22.2ポイント減と極端に後退した。借入をした企業は27.3%で14.4ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%で8.3ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大幅に強まる見込み。売上額、受注残、収益はいずれも減少・減益幅が大きく拡大する見通し。販売価格は下降傾向が大きく強まり、原材料価格は下降幅が幾分拡大するとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは窮屈感が若干緩和し、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」45.5%、2位は「利幅の縮小」「原材料高」がともに9.1%となった。重点経営施策については、1位が「販路を広げる」「経費を節減する」でともに36.4%であった。

### (3)電気機械器具

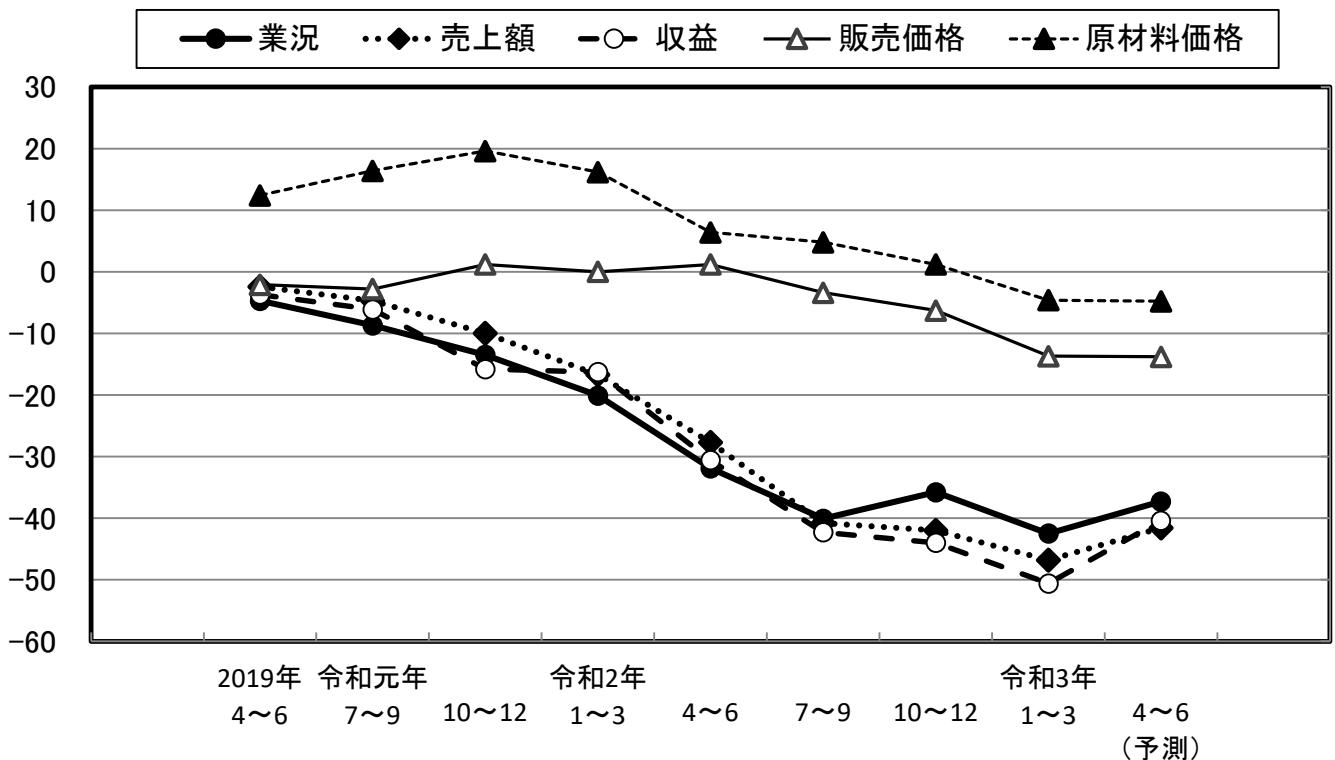
業況は△22.3で前期比5.6ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。受注残は△26.3で7.3ポイント増と大きく持ち直し、収益は△27.7で3.1ポイント増と多少減益幅が縮小し、売上額は△28.2で1.9ポイント減とやや減少幅が拡大した。

価格動向については、販売価格は△22.4で16.1ポイント減、原材料価格は△13.6で6.1ポイント減とともにかなり下降傾向が強まった。在庫は△14.9で8.0ポイント減と大きく不足感が強まった。資金繰りは△19.8で3.0ポイント増とやや窮屈感が緩和し、借入難易度は30.0で5.0ポイント増と多少容易になった。借入をした企業は30.8%で10.9ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は0.0%と8.3ポイント減少した。

来期の見通しについては、業況は低調感が多少強まる見込み。売上額、受注残、収益は減少・減益幅が幾分拡大する見通し。販売価格、原材料価格はともに今期同様の下降が続くとみられる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは今期同様の厳しさが続き、設備投資を実施する企業は今期同様変わらない見込み。

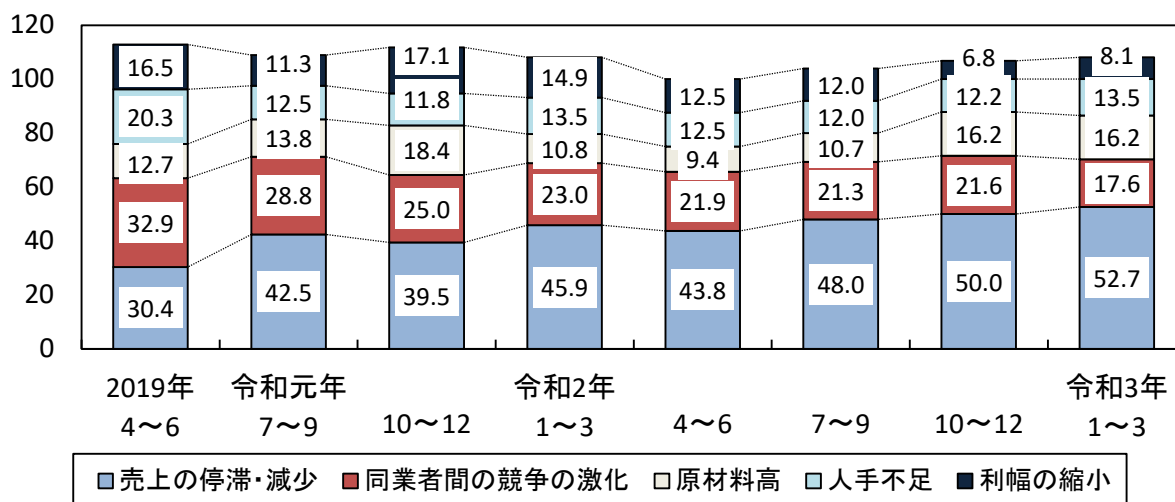
経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で30.8%、2位は「人手不足」で23.1%、3位は「原材料高」で15.4%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で30.8%、2位は「経費を節減する」で23.1%、3位は「提携先を見つける」「人材を確保する」「パート化を図る」「労働条件を改善する」でいずれも7.7%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

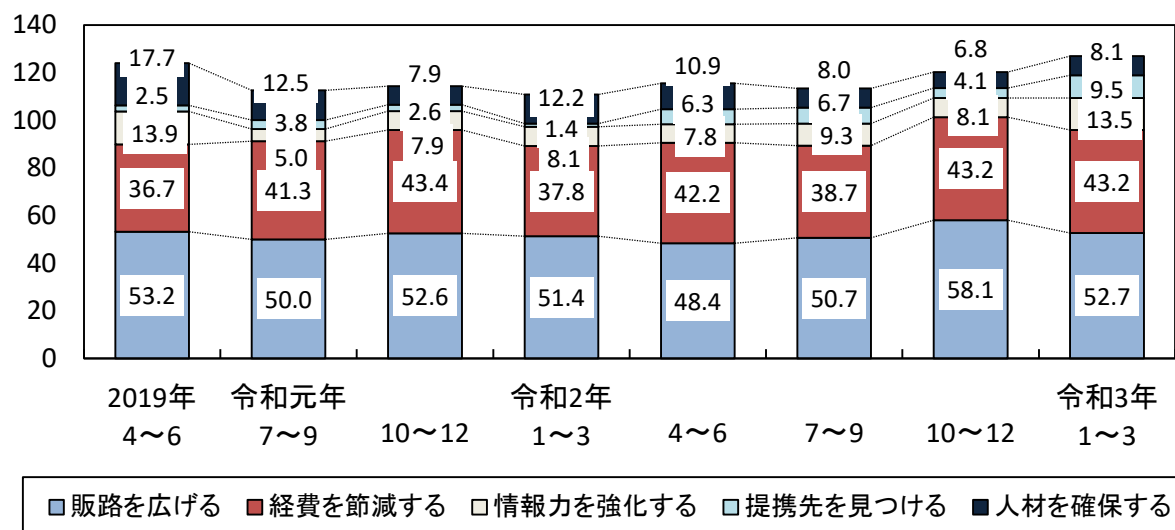


## 製造業 経営上の問題点（％）

	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 43.8％	売上の停滞・減少 48.0％	売上の停滞・減少 50.0％	売上の停滞・減少 52.7％
第2位	同業者間の競争の激化 21.9％	同業者間の競争の激化 21.3％	同業者間の競争の激化 21.6％	同業者間の競争の激化 17.6％
第3位	利幅の縮小 12.5％	利幅の縮小 12.0％	原材料高 16.2％	原材料高 16.2％
	人手不足 12.5％	人手不足 12.0％		
第4位	原材料高 9.4％	原材料高 10.7％	人手不足 12.2％	人手不足 13.5％
	大手企業との競争の激化 9.4％			
第5位	仕入先からの値上げ要請 7.8％	生産能力の不足 5.3％	利幅の縮小 6.8％	利幅の縮小 8.1％



## 製造業 重点経営施策（％）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	販路を広げる 48.4％	販路を広げる 50.7％	販路を広げる 58.1％	販路を広げる 52.7％
第2位	経費を節減する 42.2％	経費を節減する 38.7％	経費を節減する 43.2％	経費を節減する 43.2％
第3位	人材を確保する 10.9％	情報力を強化する 9.3％	情報力を強化する 8.1％	情報力を強化する 13.5％
第4位	新製品・技術を開発する 7.8％	人材を確保する 8.0％	人材を確保する 6.8％	提携先を見つける 9.5％
	情報力を強化する 7.8％			
第5位	提携先を見つける 6.3％	提携先を見つける 6.7％	不採算部門を整理・縮小する 4.1％	人材を確保する 8.1％
			提携先を見つける 4.1％	
			教育訓練を強化する 4.1％	

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は△48.0で前期比19.3ポイント増とかなり厳しさが和らいだ。売上額は△50.5で13.6ポイント増、収益は△42.5で9.6ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は厳しさがやや和らぎ、売上額、収益はともに減少・減益幅が大きく縮小する見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は△4.8で1.9ポイント増と若干下降傾向が弱まり、仕入価格は△1.0で0.7ポイント減とほぼ横ばいで推移した。在庫は11.2で0.5ポイント減と前期並の過剰感が続いた。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに下降傾向が幾分強まる見通し。在庫は過剰感がわずかに改善する見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

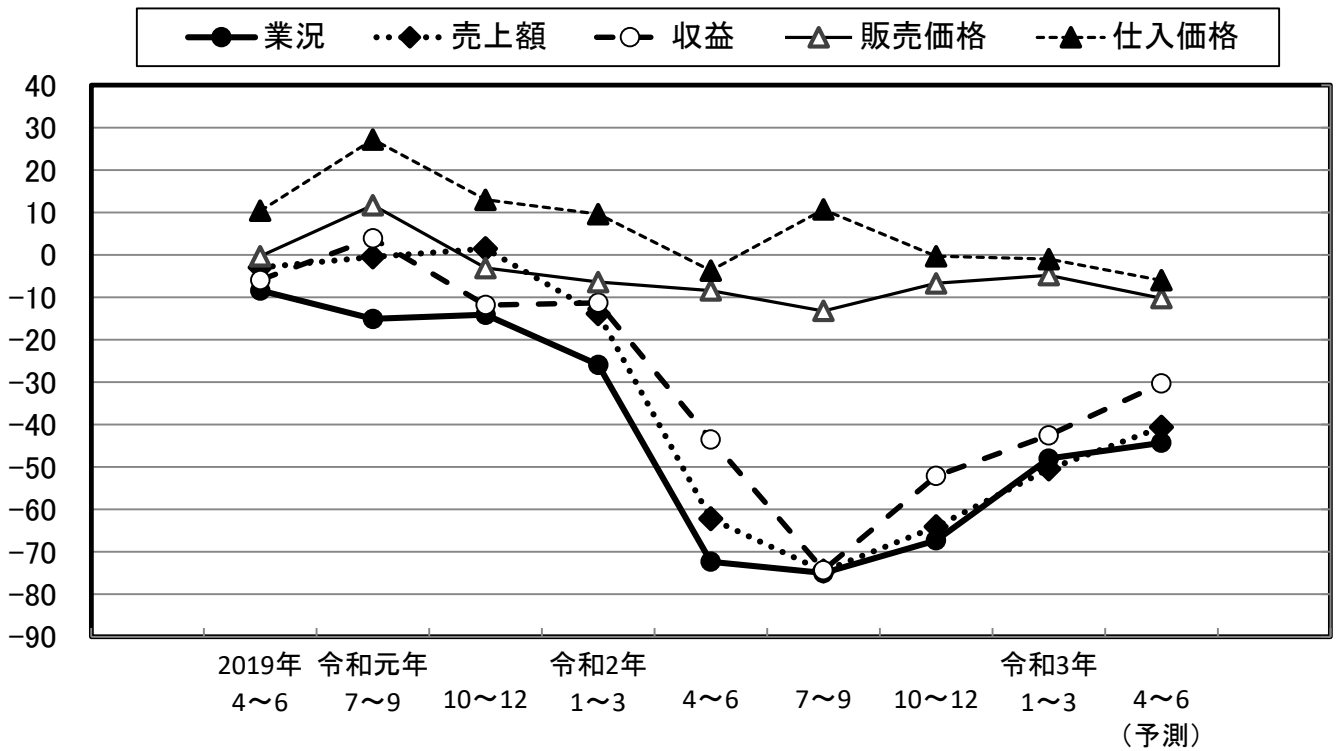
資金繰りは△28.6で7.6ポイント増とかなり窮屈感が緩和し、借入難易度は10.5で17.3ポイント減と大幅に容易さが縮小した。借入をした企業は23.8%で14.3ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は4.8%で4.8ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業はわずかに増加し、設備投資をする企業は今期同様で推移する見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

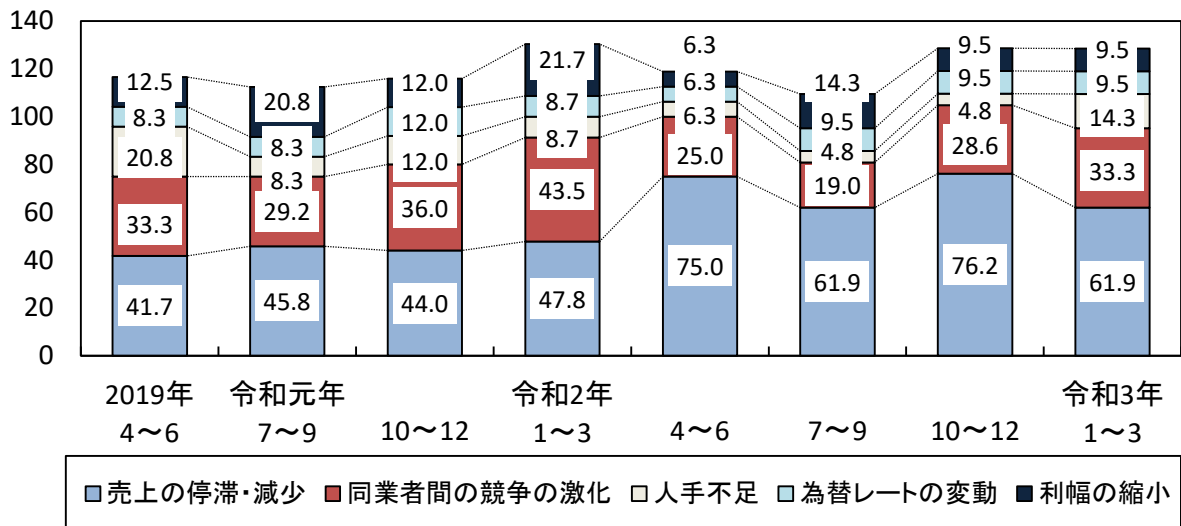
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で61.9%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で33.3%、3位は「人手不足」で14.3%となった。以下、4位は「為替レートの変動」「利幅の縮小」がともに9.5%、5位は「合理化の不足」「小口注文・多頻度配送の増加」「取扱商品の陳腐化」「販売商品の不足」「人件費の増加」「取引先の減少」「店舗の狭小・老朽化」がいずれも4.8%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で57.1%となった。次いで2位は「経費を節減する」で47.6%、3位は「品揃えを充実する」で28.6%となった。以下、4位は「情報力を強化する」で19.0%、5位は「人材を確保する」で14.3%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

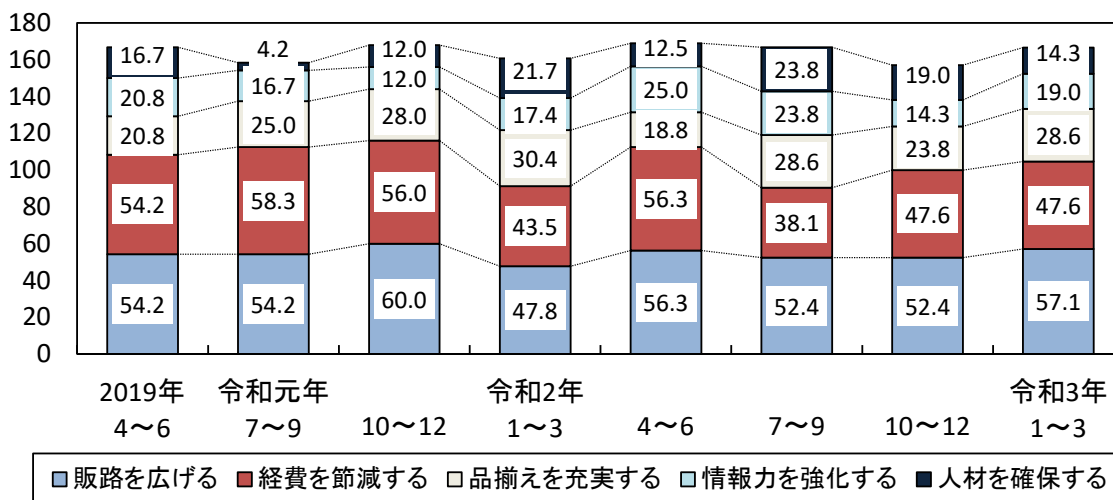


卸売業 経営上の問題点（%）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 75.0 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 76.2 %	売上の停滞・減少 61.9 %
第2位	同業者間の競争の激化 25.0 %	同業者間の競争の激化 19.0 %	同業者間の競争の激化 28.6 %	同業者間の競争の激化 33.3 %
第3位	為替レートの変動 6.3 % 代金回収の悪化 6.3 % 取引先の減少 6.3 % 人件費の増加 6.3 % 人件費以外の経費の増加 6.3 % 人手不足 6.3 % 取扱商品の陳腐化 6.3 % 販売商品の不足 6.3 % 販売納入先からの値下げ要請 6.3 % 利幅の縮小 6.3 %	取引先の減少 14.3 % 利幅の縮小 14.3 %	販売納入先からの値下げ要請 14.3 %	人手不足 14.3 %
第4位		為替レートの変動 9.5 % 取扱商品の陳腐化 9.5 % 人件費の増加 9.5 %	為替レートの変動 9.5 % 取引先の減少 9.5 % 利幅の縮小 9.5 %	為替レートの変動 9.5 % 利幅の縮小 9.5 %
第5位		人手不足 4.8 % 販売納入先からの値下げ要請 4.8 % 天候の不順 4.8 %	人手不足 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 人件費の増加 4.8 % 天候の不順 4.8 %	合理化の不足 4.8 % 小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 販売商品の不足 4.8 % 人件費の増加 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 店舗の狭小・老朽化 4.8 %

### 卸売業 重点経営施策（％）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	経費を節減する 56.3 % 販路を広げる 56.3 %	販路を広げる 52.4 %	販路を広げる 52.4 %	販路を広げる 57.1 %
第2位	情報力を強化する 25.0 %	経費を節減する 38.1 %	経費を節減する 47.6 %	経費を節減する 47.6 %
第3位	品揃えを充実する 18.8 %	品揃えを充実する 28.6 %	品揃えを充実する 23.8 %	品揃えを充実する 28.6 %
第4位	人材を確保する 12.5 %	人材を確保する 23.8 % 情報力を強化する 23.8 %	人材を確保する 19.0 %	情報力を強化する 19.0 %
第5位	新しい事業を始める 6.3 % 機械化を推進する 6.3 % 取引先を支援する 6.3 %	新しい事業を始める 4.8 % 提携先を見つける 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	情報力を強化する 14.3 %	人材を確保する 14.3 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 46.1$ で前期比 11.4 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 41.7$ で 9.3 ポイント減と大幅に減少を強め、収益は $\Delta 35.2$ で 1.9 ポイント減と多少減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況は低調感がやや強まり、売上額は幾分低迷し、収益は減益幅が大きく拡大する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は $\Delta 6.1$ で 0.2 ポイント減と前期並の下降が続き、仕入価格は 0.1 で 1.5 ポイント増と上昇に転じた。在庫は $\Delta 8.5$ で 4.0 ポイント減と多少不足感が強まった。

来期の見通しについては、販売価格は今期同様の低下基調で、仕入価格はほぼ横ばいで推移し、在庫は今期同様の不足感が続く見通し。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 29.3$ で 10.7 ポイント減と大きく窮屈感が強まった。借入難易度は $\Delta 9.1$ で 20.9 ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は 24.3%で 5.4 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は 2.7%で 2.9 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさを推移し、借入をする企業は大幅に減少し、設備投資をする企業は大きく増加する見込み。

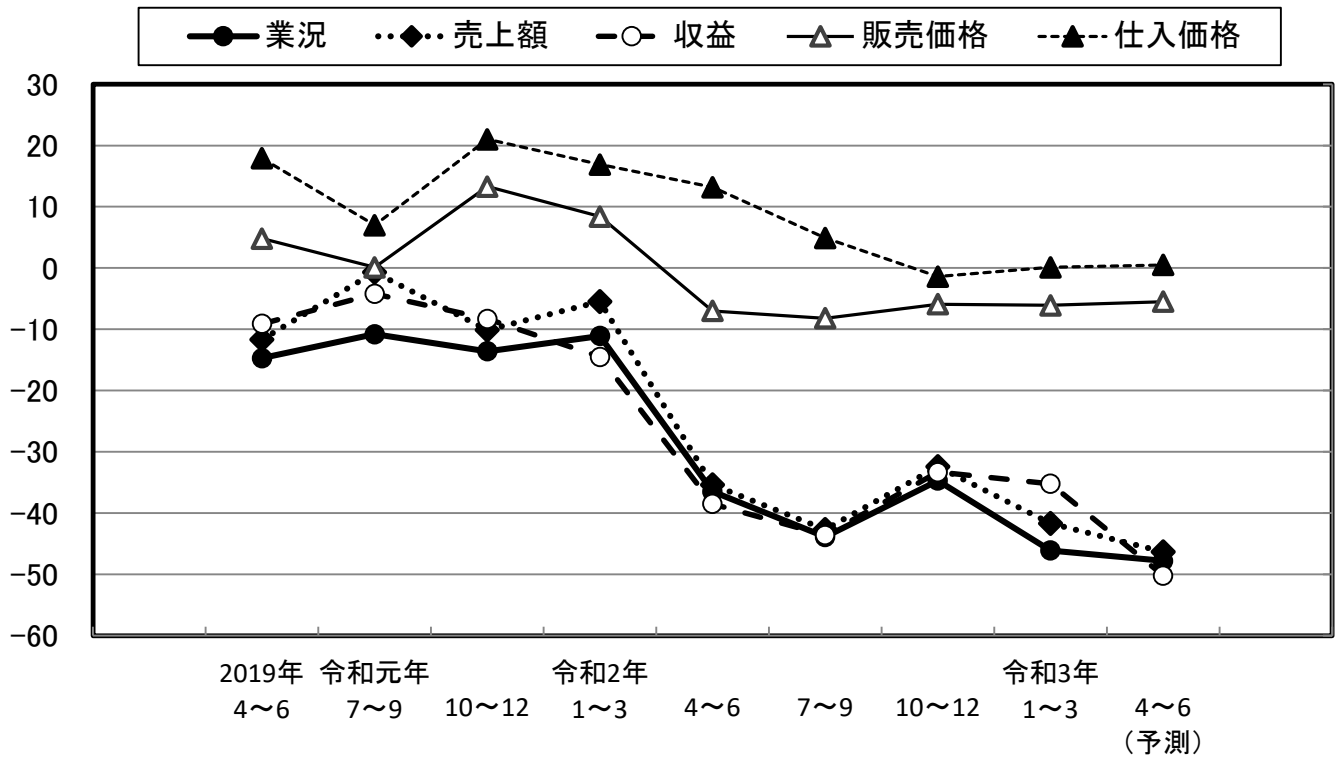
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で 48.6%、2位は「同業者間の競争の激化」が 16.2%、3位は「商店街の集客力の低下」「大型店との競争の激化」がともに 10.8%となった。以下、4位は「人手不足」が 8.1%、5位は「利幅の縮小」「仕入先からの値上げ要請」「取引先の減少」「店舗の狭小・老朽化」がいずれも 5.4%と続いた。

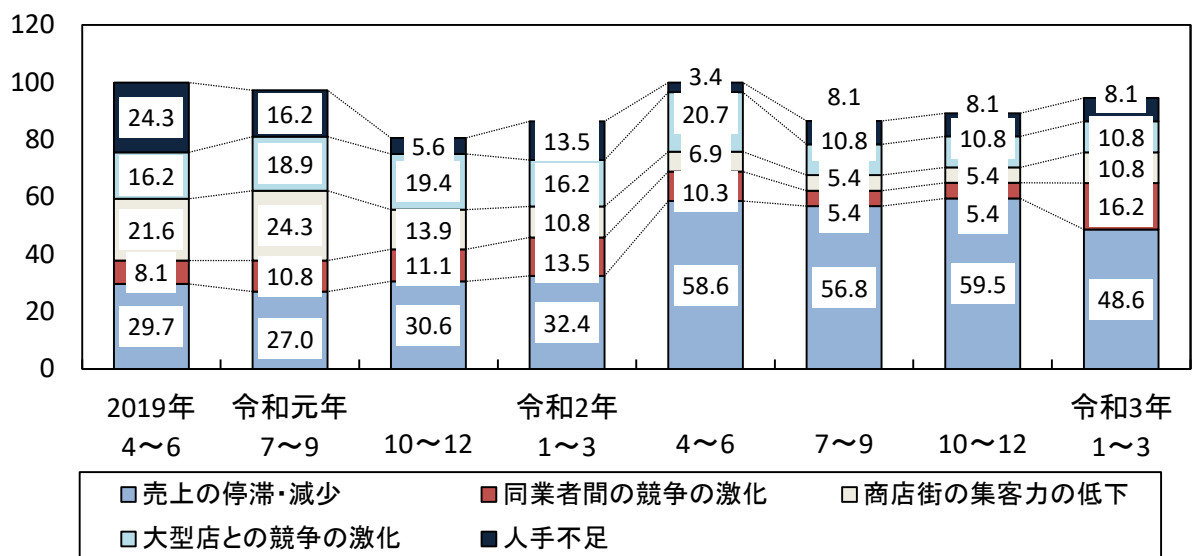
重点経営施策では、1位は「品揃えを改善する」で 35.1%、2位は「経費を節減する」で 29.7%、3位は「宣伝・広告を強化する」で 18.9%となった。以下、4位は「売れ筋商品を取り扱う」で 16.2%、5位は「商店街事業を活性化させる」で 10.8%と続いた。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

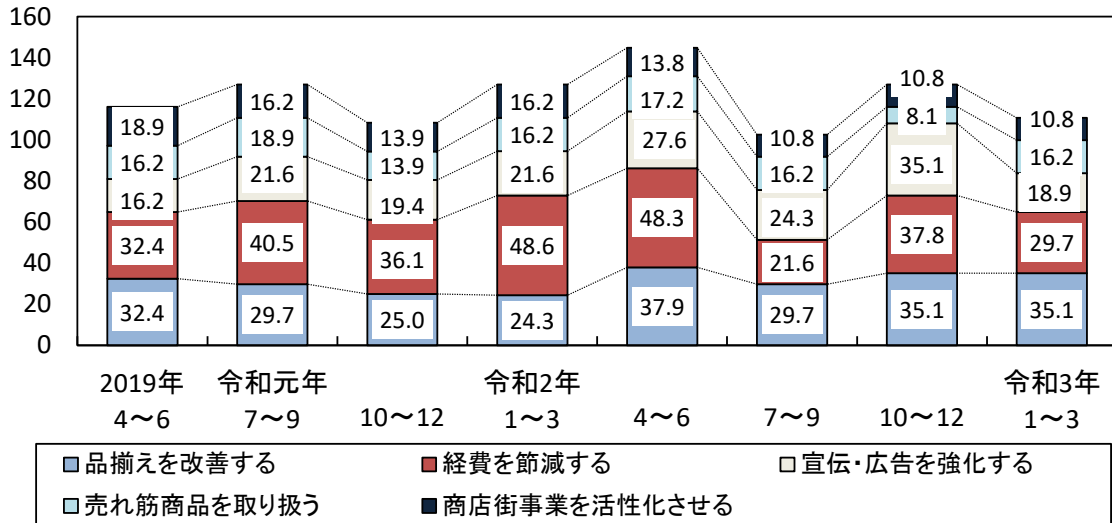


小売業 経営上の問題点（%）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 58.6 %	売上の停滞・減少 56.8 %	売上の停滞・減少 59.5 %	売上の停滞・減少 48.6 %
第2位	大型店との競争の激化 20.7 %	天候の不順 16.2 % 利幅の縮小 16.2 %	店舗の狭小・老朽化 10.8 % 取引先の減少 10.8 % 大型店との競争の激化 10.8 %	同業者間の競争の激化 16.2 %
第3位	店舗の狭小・老朽化 10.3 % 利幅の縮小 10.3 % 同業者間の競争の激化 10.3 %	大型店との競争の激化 10.8 %	天候の不順 8.1 % 人手不足 8.1 % 利幅の縮小 8.1 %	商店街の集客力の低下 10.8 % 大型店との競争の激化 10.8 %
第4位	取引先の減少 6.9 % 商圈人口の減少 6.9 % 商店街の集客力の低下 6.9 % 天候の不順 6.9 %	取引先の減少 8.1 % 人手不足 8.1 % 仕入先からの値上げ要請 8.1 %	同業者間の競争の激化 5.4 % 取扱商品の陳腐化 5.4 % 商圈人口の減少 5.4 % 商店街の集客力の低下 5.4 %	人手不足 8.1 %
第5位	人手不足 3.4 % 取扱商品の陳腐化 3.4 % 仕入先からの値上げ要請 3.4 % 代金回収の悪化 3.4 %	同業者間の競争の激化 5.4 % 販売商品の不足 5.4 % 商店街の集客力の低下 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %	販売商品の不足 2.7 % 人件費以外の経費の増加 2.7 % 代金回収の悪化 2.7 % 駐車場の確保難 2.7 %	利幅の縮小 5.4 % 仕入先からの値上げ要請 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %

### 小売業 重点経営施策（％）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	経費を削減する 48.3 %	品揃えを改善する 29.7 %	経費を削減する 37.8 %	品揃えを改善する 35.1 %
第2位	品揃えを改善する 37.9 %	宣伝・広告を強化する 24.3 %	宣伝・広告を強化する 35.1 % 品揃えを改善する 35.1 %	経費を削減する 29.7 %
第3位	宣伝・広告を強化する 27.6 %	経費を削減する 21.6 %	商店街事業を活性化させる 10.8 %	宣伝・広告を強化する 18.9 %
第4位	売れ筋商品を取り扱う 17.2 %	売れ筋商品を取り扱う 16.2 %	売れ筋商品を取り扱う 8.1 % 仕入先を開拓・選別する 8.1 %	売れ筋商品を取り扱う 16.2 %
第5位	商店街事業を活性化させる 13.8 %	商店街事業を活性化させる 10.8 % 仕入先を開拓・選別する 10.8 %	店舗・設備を改装する 2.7 % 機械化を推進する 2.7 % 人材を確保する 2.7 % 教育訓練を強化する 2.7 % 輸入品の取扱いを増やす 2.7 %	商店街事業を活性化させる 10.8 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 56.8$ で前期比 4.1 ポイント増とやや改善した。売上額は $\Delta 60.0$ で 1.9 ポイント増、収益は $\Delta 55.0$ で 1.5 ポイント増とともに幾分持ち直した。来期の見通しについては、業況は低調感が大幅に強まり、売上額は大きく改善し、収益は減益幅が若干縮小する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は $\Delta 9.1$ で 0.6 ポイント減と前期並の下降が続き、材料価格は $\Delta 5.1$ で 6.5 ポイント減と上昇から下降に大きく転じた。来期の見通しについては、料金価格、材料価格ともに、今期同様の下降が続く見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

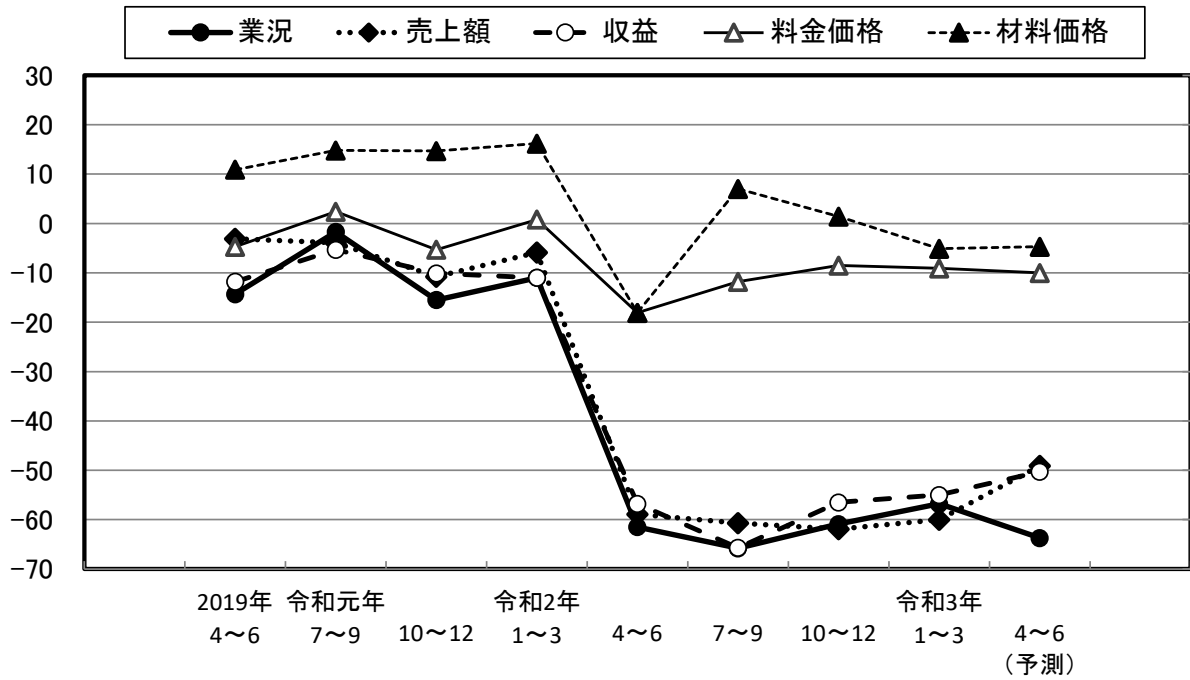
資金繰りは $\Delta 30.3$ で 4.5 ポイント増とやや窮屈感が緩和し、借入難易度は 12.8 で 10.9 ポイント減と大きく容易さが縮小した。借入をした企業は 21.3%と 17.8 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 15.2%と 8.4 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感が大きく強まり、借入をする企業は大幅に減少し、設備投資を実施する企業は幾分増加する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

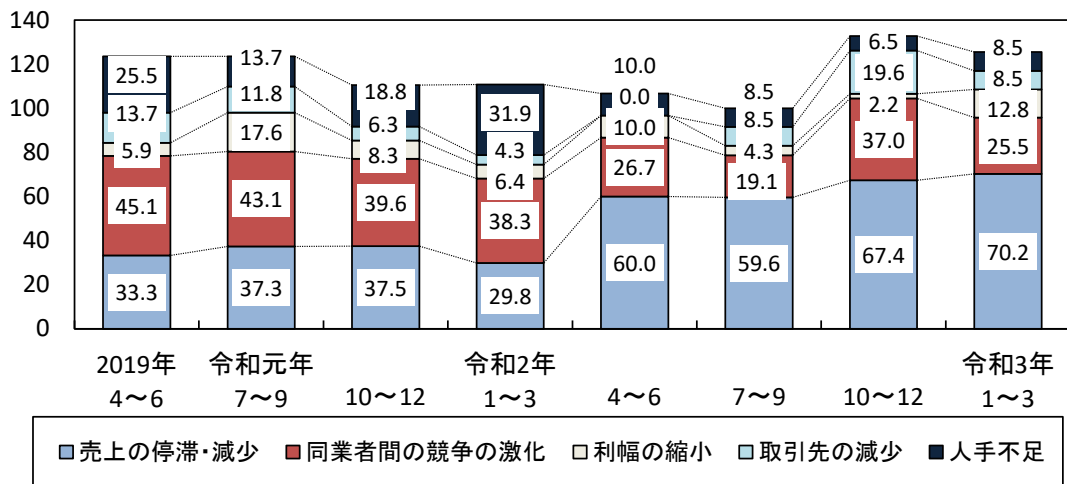
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 70.2%、2 位は「同業者間の競争の激化」で 25.5%、3 位は「利幅の縮小」で 12.8%となった。以下、4 位は「取引先の減少」「人手不足」が 8.5%、5 位は「人件費の増加」で 6.4%と続いた。

重点経営施策では、1 位は「販路を広げる」で 46.8%、2 位は「経費を節減する」で 36.2%、3 位は「宣伝・広告を強化する」で 17.0%となった。以下、4 位は「店舗・設備を改装する」が 12.8%、5 位は「提携先を見つける」で 10.6%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

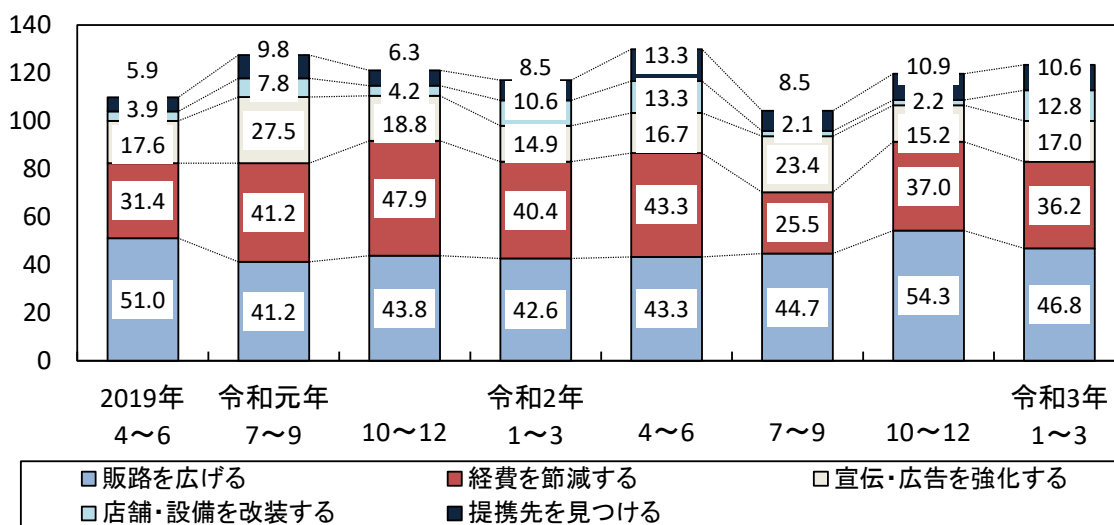


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和2年4月～6月期		令和2年7月～9月期		令和2年10月～12月期		令和3年1月～3月期	
第1位	売上の停滞・減少	60.0 %	売上の停滞・減少	59.6 %	売上の停滞・減少	67.4 %	売上の停滞・減少	70.2 %
第2位	同業者間の競争の激化	26.7 %	同業者間の競争の激化	19.1 %	同業者間の競争の激化	37.0 %	同業者間の競争の激化	25.5 %
第3位	店舗・設備の狭小・老朽化	10.0 %	人件費の増加	10.6 %	取引先の減少	19.6 %	利幅の縮小	12.8 %
	利幅の縮小	10.0 %						
	大企業との競争の激化	10.0 %						
	人手不足	10.0 %						
	材料価格の上昇	6.7 %						
第4位	材料価格の上昇	6.7 %	取引先の減少	8.5 %	人件費の増加	8.7 %	取引先の減少	8.5 %
			合理化の不足	8.5 %			人手不足	8.5 %
			人手不足	8.5 %				
第5位	合理化の不足	3.3 %	利幅の縮小	4.3 %	大企業との競争の激化	6.5 %	人件費の増加	6.4 %
	料金の値下げ要請	3.3 %						
	人件費の増加	3.3 %						
	技術力の不足	3.3 %						
	商圏人口の減少	3.3 %						
	地価の高騰	3.3 %						
	地場産業の衰退	3.3 %						
	材料価格の上昇	4.3 %						
人手不足	6.5 %							

## サービス業 重点経営施策（％）



	令和2年4月～6月期		令和2年7月～9月期		令和2年10月～12月期		令和3年1月～3月期	
第1位	経費を節減する	43.3 %	販路を広げる	44.7 %	販路を広げる	54.3 %	販路を広げる	46.8 %
	販路を広げる	43.3 %						
第2位	宣伝・広告を強化する	16.7 %	経費を節減する	25.5 %	経費を節減する	37.0 %	経費を節減する	36.2 %
第3位	提携先を見つける	13.3 %	宣伝・広告を強化する	23.4 %	技術力を強化する	15.2 %	宣伝・広告を強化する	17.0 %
	店舗・設備を改装する	13.3 %			宣伝・広告を強化する	15.2 %		
第4位	教育訓練を強化する	10.0 %	人材を確保する	17.0 %	人材を確保する	10.9 %	店舗・設備を改装する	12.8 %
					提携先を見つける	10.9 %		
第5位	技術力を強化する	6.7 %	労働条件を改善する	10.6 %	労働条件を改善する	8.7 %	提携先を見つける	10.6 %
	労働条件を改善する	6.7 %	技術力を強化する	10.6 %				

# 建設業

## 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 16.7$ で前期比 14.4 ポイント減と大きく低調感が強まった。売上額は $\Delta 22.4$ で 6.1 ポイント減、受注残は $\Delta 26.6$ で 6.2 ポイント減、施工高は $\Delta 16.2$ で 7.3 ポイント減、収益は $\Delta 23.5$ で 10.0 ポイント減といずれもかなり減少・減益幅が拡大した。

来期の見通しについては、業況はかなり改善する見込み。売上額、施工高、収益はいずれも減少・減益幅がやや縮小し、受注残は今期同様の減少が続く見通し。

## 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は $\Delta 5.6$ で 0.9 ポイント増と前期並の下降が続き、材料価格は 16.3 で 14.8 ポイント増と大きく上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 2.9$ で 3.6 ポイント増と多少不足感が改善した。

来期の見通しについては、請負価格は今期同様の下降が続き、材料価格は今期同様の上昇で推移し、在庫は今期同様の不足感が続く見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

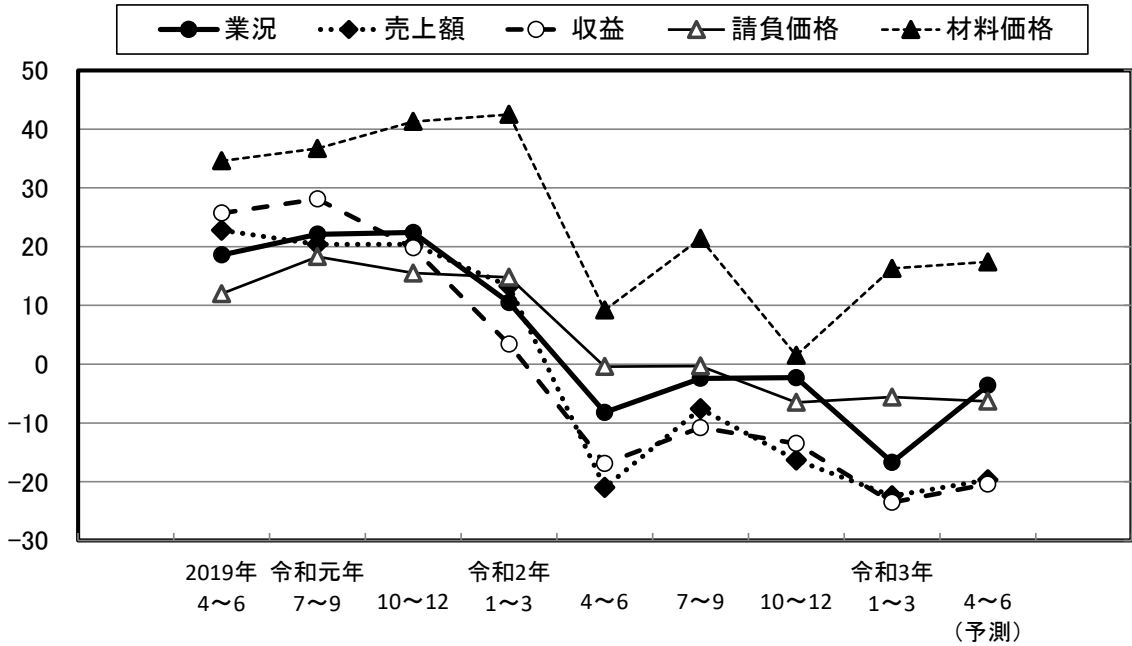
資金繰りは $\Delta 4.2$ で 3.3 ポイント増と幾分窮屈感が緩和し、借入難易度は 24.2 で 17.3 ポイント増と大きく容易さが増した。借入をした企業は 20.0%と 3.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 13.3%と 3.3 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の窮屈感が続き、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業はやや増加する見通し。

## 経営上の問題点・重点経営施策

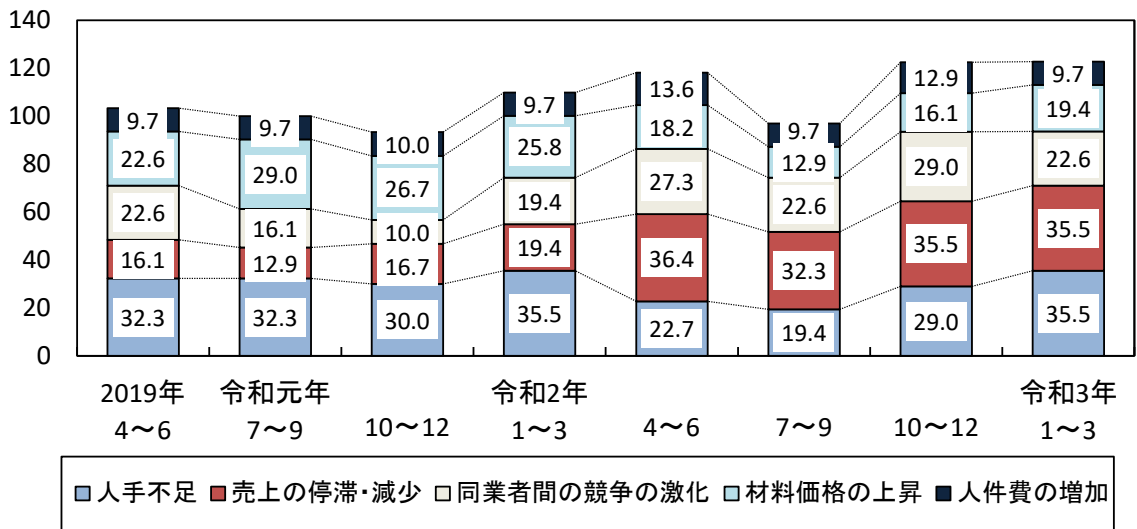
経営上の問題点は、1位は「人手不足」「売上の停滞・減少」がともに 35.5%となった。次いで2位は「同業者間の競争の激化」で 22.6%、3位は「材料価格の上昇」で 19.4%となった。以下、4位は「人件費の増加」「大手企業との競争の激化」「下請の確保難」でいずれも 9.7%、5位は「利幅の縮小」が 6.5%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で 38.7%となった。次いで2位は「情報力を強化する」で 35.5%、3位は「人材を確保する」「技術力を高める」「販路を広げる」でいずれも 32.3%となった。以下、4位は「教育訓練を強化する」で 9.7%であった。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

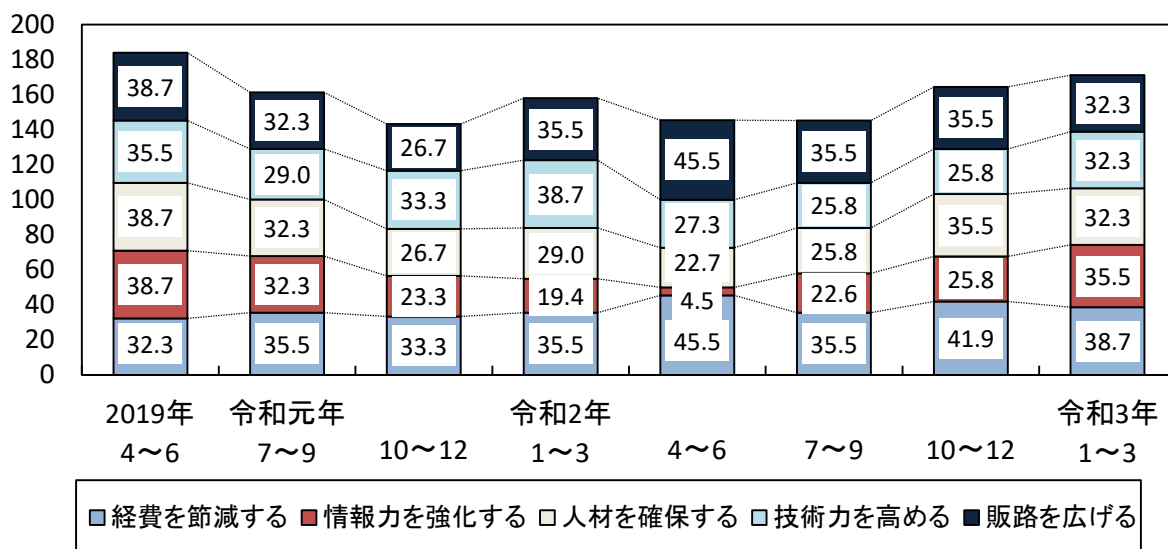


建設業 経営上の問題点（％）



	令和2年4月～6月期	令和2年7月～9月期	令和2年10月～12月期	令和3年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 36.4 %	売上の停滞・減少 32.3 %	売上の停滞・減少 35.5 %	人手不足 35.5 % 売上の停滞・減少 35.5 %
第2位	同業者間の競争の激化 27.3 %	同業者間の競争の激化 22.6 %	同業者間の競争の激化 29.0 % 人手不足 29.0 %	同業者間の競争の激化 22.6 %
第3位	人手不足 22.7 %	人手不足 19.4 %	下請の確保難 19.4 %	材料価格の上昇 19.4 %
第4位	材料価格の上昇 18.2 % 大手企業との競争の激化 18.2 %	下請の確保難 12.9 % 材料価格の上昇 12.9 % 利幅の縮小 12.9 %	材料価格の上昇 16.1 %	人件費の増加 9.7 % 大手企業との競争の激化 9.7 % 下請の確保難 9.7 %
第5位	人件費の増加 13.6 %	大手企業との競争の激化 9.7 % 人件費の増加 9.7 %	人件費の増加 12.9 %	利幅の縮小 6.5 %

## 建設業 重点経営施策（％）



	令和2年4月～6月期		令和2年7月～9月期		令和2年10月～12月期		令和3年1月～3月期	
第1位	経費を節減する	45.5 %	経費を節減する	35.5 %	経費を節減する	41.9 %	経費を節減する	38.7 %
	販路を広げる	45.5 %	販路を広げる	35.5 %				
第2位	技術力を高める	27.3 %	人材を確保する	25.8 %	人材を確保する	35.5 %	情報力を強化する	35.5 %
			技術力を高める	25.8 %	販路を広げる	35.5 %		
第3位	人材を確保する	22.7 %	情報力を強化する	22.6 %	技術力を高める	25.8 %	人材を確保する	32.3 %
					情報力を強化する	25.8 %	技術力を高める	32.3 %
							販路を広げる	32.3 %
第4位	新しい工法を導入する	13.6 %	新しい工法を導入する	3.2 %	教育訓練を強化する	6.5 %	教育訓練を強化する	9.7 %
			教育訓練を強化する	3.2 %				
			労働条件を改善する	3.2 %				
			不動産の有効活用を図る	3.2 %				
第5位	情報力を強化する	4.5 %			新しい工法を導入する	3.2 %		
	労働条件を改善する	4.5 %			労働条件を改善する	3.2 %		
					不動産の有効活用を図る	3.2 %		